

## 今日のみことば

### □ 5月7日(日) テモテ第一 4章

キリストの僕たる奉仕者は、養われ、訓練を受けなければなりません。み言葉によって養われる必要があるし、信仰の訓練が必要です。

### □ 5月8日(月) テモテ第一 5章

クリスチャンは神の家族の一員として、尊敬をもって、真の信仰による兄弟姉妹として互いに対すべきです。この世の人々に非難されることがないように証しを立てるべきです。

### □ 5月9日(火) テモテ第一 6章

パウロは信仰を利益の道と思っている偽教師にたいする警告を与えます。「満ち足りる心を伴う敬虔こそ、大きな利益を受ける道です」神が与えてくださるもので満足することです。

### □ 5月10日(水) テモテ第二 1章

若いテモテは、祖母、母より信仰の継承という遺産を受け継ぎました。このような遺産こそ最も価値ある遺産で、キリスト者の家庭の特権である。

### □ 5月11日(木) テモテ第二 2章

兵士が勝利を得ようとするなら戦わねばならない。選手が勝とうとすれば競わねばならない。キリスト者が栄冠を得るためには十字架を負って生きなければならない。

### □ 5月12日(金) テモテ第二 3章

テモテは信仰の父パウロを模範としました。しかしそれは十分ではありませんでした。聖書こそが、この悪の時代にあって神の人が力とし、また守るべき神の言葉です。

### □ 5月13日(土) テモテ第二 4章

パウロの最後はどこにも記されていませんが、この手紙でいくらかを知ることが出来る。彼は最後まで神の用いられることを願って、そのために必要なものを持ってきてほしいと願った

---

ろば No. 1814

2017年 5月 7日  
日本バプテスト 立川キリスト教会  
牧師 大川 博之

---

ヨハネ 20:20

そう言って、手とわき腹とをお見せになった。弟子たちは、主を見て喜んだ。

復活された主イエスは、40日の間、弟子たちと共にお出ででした。パウロは「最も大切なこととしてあなたがたに伝えたのは、わたしも受けたものです。すなわちキリストは、聖書に書いてあるとおりわたしたちの罪のために死んだこと、葬られたこと、また聖書に書いてあるとおり三日目に復活したこと、ケファに現れ、その後十二人に現れたことです。次いで五百人以上もの兄弟たちに同時に現れました。次いで、ヤコブに現れ、その後すべての使徒に現れ、そして最後に、月足らずで生まれたようなわたしにも現れました」(コリント第一15:3-8)と証言する通りです。ユダヤの皇帝や祭司長たちが、それを否定するよううわさを流そうとも、私たちの確信がそ

がれるようなことはありません。かえって私たちは、主イエスの復活の確かさを確認させていただくのでした。

イエスが十字架の上で死なれてから、弟子たちは自分たちの身を恐れて一つ部屋に集まってふるえていました。頭に浮かぶことは悪いことばかり。そのような時に、イエスの遺体は墓にはなく復活されたとのニュースは、ますます彼らを落ち込ませたことでした。そこに「イエスが来て真ん中に立ち、『あなたがたに平和があるように』と言われた」のです。その時の彼らの動揺を察することが出来ますか。一瞬、そんな馬鹿など思ったことでしょうか。けれども目の前にイエスが立っておられる事

実は隠しようもありません。その時の弟子たちの様子を、私はペテロが「シモン・ペテロは『主だ』と聞くと、裸同然だったので、上着をまとって湖に飛び込んだ」(ヨハネ21:7)との言葉にうちに、またイエスの復活の知らせに不信をあらわにしていたトマスが、復活のイエスにお会いしたとき、今まで言っていたことは何だ「わたしの主、わたしの神よ」と告白するとはとの出来事に見せていただくのです。

今日、私たちが生かされている時代、どんなよいニュースがありますか。次から次と暗いニュースが飛び込んでくる時代に今も変わることなく伝えられるニュースは「神は愛なり」とのニュースです。忘れてはならない、そしてしっかり伝えなければならぬニュース、それが死んで三日目に復活された主イエスの出来事です。

それは弟子たちが復活の主イエスに出会って、その後どのように生きたか、と言うことです。私はその最初の証言をパウロの回心に見せていただきます。キリスト迫害の急先鋒が、キリストの福音宣教の先頭に立つ者に変えられるという、前代未聞とも言うべき出来事です。今日においても復活のイエスの働きは変わりません。変えられた人たちの証言は枚挙にいとまはありません。その中の最大のものは、あなたご自身の回心の出来事ではありませんか。主イエスは生きておられます。あなたが主イエスと会われたとき、「主を見て喜んだ」ではありませんか。主はあなたに平安を与えてくださったのではありませんか。その証しをすることを通して、今日の時代に主にある平安を伝えるのです。

————— 《 聖書の学び・祈祷会 》 —————

ヨハネ4:1-30 変えられた熱心は者

ヨハネ福音書3章と4章には、主イエスによって驚くべき変貌を遂げた人物が語られている。ニコデモは宗教家であって、リーダー的存在の人物、今一人のサマリヤの女は評判の悪い女性でした。イエスはこの二人を平等に扱われました。

主イエスの慈しみは、この女を見捨てられることはありませんでした。ユダヤ人とサマリヤ人の確執もさることながら、イエスの対応は、彼女には驚きでした。イエスはどんな人間に対しても、男であれ女であれ一個の人間として応対をされました。人類は自分たちの幸せと求めて努力をしてきました。しかしその人々の求めを、渇きを潤すことは出来ませんでした。渇きをいやす水をいかに飲もうともまた乾く。何ものも魂の渇きを潤すことは出来ませんでした。私たちの渇きをとどめる者は、主ご自身しかおられません。この女はそのお方にお会いすることが出来たのです。主はそのように私たちと出会って下さいます



Read God's Word.

次週の聖書・説教

サムエル上1:1-11 母の祈り